

形 式：

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>The role of postoperative adjuvant radiation therapy in the treatment of mucosal melanomas of the head and neck region</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ14-9	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( I V )	
	Pubmed ID	12925346	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Otolaryngol Head Neck Surg	
	雑誌 ID		
	巻	129	
	号	8	
	ページ	864-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2003 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Owens JM	Colorado Health Sciences Center
	その他著者 1	Roberts DB	MD アンダーソン癌センター
	その他著者 2	Myers JN	同上
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の8項目	目的	頭頸部原発のメラノーマに対し術後放射線療法の意義があるかを検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	Academic tertiary referral center	
	対象者	48例の頭頸部原発の悪性黒色腫 37例：口腔または中咽頭、11例：副鼻腔、2例：口唇、硬口蓋	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (12)	
	介入（要因曝露）	手術：20例、手術＋術後放射線療法：24例 放射線療法 60 Gy/30回（口腔に関しては30 Gy/5回） 再発症例には化学療法(CDDPを含む多剤併用療法)	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2	遠隔再発	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
主な結果	手術単独例 局所再発：45%、遠隔再発：50%、5年生存率：45% 手術＋放射線療法 局所再発：17%、遠隔再発：46%、5年生存率：29% (両者のすべてに有意差なし)		
結論	術後放射線療法は、局所制御率を向上させる可能性はあるが、遠隔転移が多いため生存率を向上させていない。		

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人
	レビューワーコメント	レベル IV